

2023年度 環境活動レポート
(2023年 7月～2024年 6月)

株式会社ワールド・クリーン

2024/11/25

目次

1. 環境経営方針	3
2. 事業活動の規模	4
3. 株式会社ワールド・クリーン 環境経営システム 組織一覧表／役割・責任・権限表.....	6
3-1. 組織一覧表	6
3-2. 役割・責任・権限表.....	7
4. 環境目標	8
廃棄物の削減及びリサイクルの推進.....	8
CO ₂ 排出量の削減.....	8
排水量の削減	9
社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備.....	9
5. 環境活動計画	9
廃棄物の削減及びリサイクルの推進.....	9
CO ₂ 排出量の削減.....	9
排水量の削減	10
社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備.....	10
6. 実績	11
廃棄物の削減及びリサイクルの推進.....	11
CO ₂ 排出量の削減.....	12
排水量の削減	14
廃棄物の受け入れ量（t）	15
社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備.....	16
7. 環境活動計画の取組みと評価.....	17
8. 環境関連法規制等の順守状況.....	18
9. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	19
資料：	20

1. 環境経営方針

株式会社ワールド・クリーン 環境経営方針

<環境経営理念>

当社は環境悪化ストッパーとして、現在の我々と未来の子孫が、安全快適にこの地球上で生活することが出来る環境を保持するために、『環境保全第一』を環境経営理念に掲げ、廃棄物を資源と捉え、廃棄物の有効活用と、法に則った環境保全を推進することが、当社の役割であることを全社員が認識し、全社一丸となって環境保全活動に取り組めます。

<環境保全行動指針>

I. 具体的行動

① 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

- 産業廃棄物
 - 当社に処理を委託された全ての廃棄物のリサイクル率を常に把握し、飼料化率の向上及び廃プラスチック類のリサイクルを進める。
- 一般廃棄物
 - 飛島リサイクルセンターから排出される可燃ごみ、不燃ごみ、紙くずの発生量を毎月把握し、増加の際は原因を追及し改善を計画する。

② CO2 排出量の削減

- 電力
 - 飛島リサイクルセンターの電力量を常に把握し、増加の際は原因を追及し、改善を計画する。
- 自動車燃料
 - 営業車、トラック、フォークリフト
 - 燃料使用量を毎月モニターし、燃費悪化が著しい場合は原因を追及し改善を計画する。
 - 将来は電気やハイブリッド車輛を優先的に利用する事を検討する。
- LP ガス
 - 飛島リサイクルセンター事務所の使用量を毎月把握し、増加の際は原因を追及し改善を計画する。

③ 排水量の削減

- 飛島リサイクルセンター作業洗浄水の使用量を毎月把握し、増加の際は原因を追及し改善を計画する。
- 飛島リサイクルセンター事務所の使用量を毎月把握し、増加の際は原因を追及し改善を計画する。

④ 社会貢献

- 未利用エネルギー資源のエネルギー化の研究開発と実施
- 地域での環境保全活動への参加

II. 法令の遵守

- 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

III. 環境活動の公表

- 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2021年 6月30日
株式会社ワールド・クリーン

代表取締役 長尾秀義

2. 事業活動の規模

■登録事業所の概要

事業所名及び代表者名

株式会社ワールド・クリーン

代表取締役 長尾秀義

法人設立年月日：平成4年4月17日

■所在地

本社、飛島リサイクルセンター：愛知県海部郡飛島村金岡54番

■環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：藤本和也(事業部長)

連絡先：0567-57-0533

担当者：藤本和也(事業部長)

連絡先：0567-57-0533

■事業内容（認証・登録の範囲）

- ・産業廃棄物中間処理、食品廃棄物の再生・飼料製造

（対象事業場：本社、飛島リサイクルセンター）

- ・事業の規模

資本金 10,000（千円）

年間売上 696,567（千円）（2023年度）

従業員数 14名

延床面積 879.3 m²

- ・処理能力(中間処理業)

- ・事業の区分

- ・中間処分（圧縮・選別、混練、選別、破碎、破碎・選別）

廃棄物処分業許可番号：第02320075513号

許可年月日：令和元年7月12日

許可有効年月日：令和6年5月5日

破碎・選別施設 8.72 m³/日

廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

破碎・選別施設 29.2 m³/日

廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

破碎・選別施設 8.4 m³/日

汚泥（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃油、廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃プラスチック類（自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く）

（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

破碎施設 40.16 m³/日

動植物性残さ

（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

破碎施設 17.12 m³/日

廃プラスチック類（自動車等破碎物及び石綿含有産業廃棄物を除く）

（上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

圧縮・選別施設 22.48 m³/日

廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）、廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）、

廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、金属くず
(上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

選別施設 88 m³/日

汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。)、
廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物
及び石綿含有産業廃棄物を除く)、動植物性残さ、金属くず(自動車等破砕物を除
く)

(上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

混練施設 156 m³/日

汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。)、
廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。)、動植物性残さ
(上記品目は水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

破砕洗浄施設 2.96 t/日 × 3台

汚泥(石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。)、廃油、廃酸(水銀
含有ばいじん等を除く。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業
廃棄物を除く)、動植物性残さ

・年間処理量(中間処理業)

8,228.34 t (2023.07.01~2024.06.30 実績)

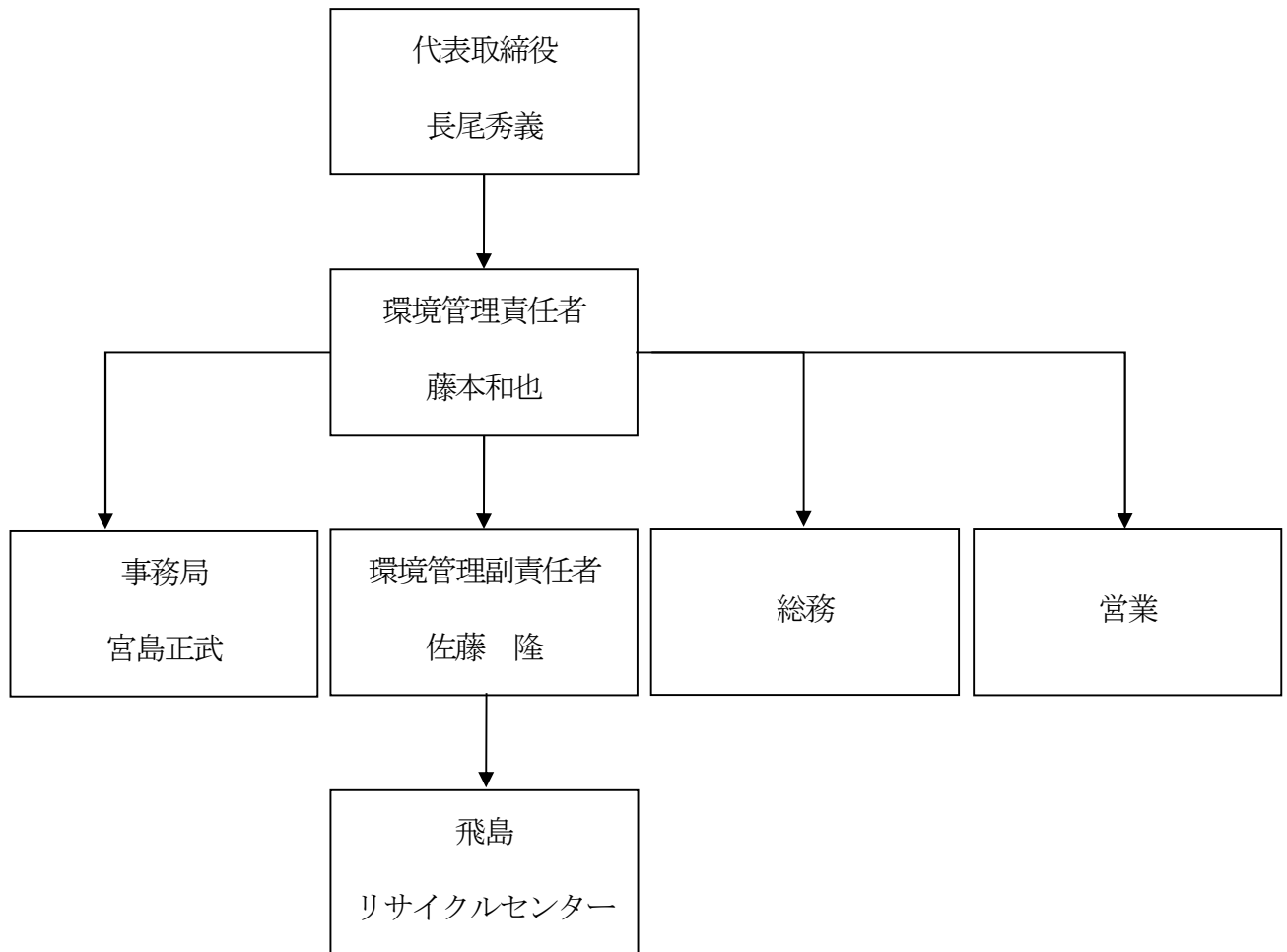
■事業年度

7月 ~ 6月

3. 株式会社ワールド・クリーン 環境経営システム 組織一覧表／役割・責任・権限表

(全組織、全活動を対象として環境活動に取り組んでいる)

3-1. 組織一覧表



3-2. 役割・責任・権限表

環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を作成・承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの作成。
環境管理副責任者	・環境管理責任者の補佐 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境活動の進捗状況の確認・報告 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成補助。 ・整理整頓状況の管理
事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・受入・出荷に関する集計表を作成します。 ・環境活動の実績集計。電気・水道・ガス・化石燃料の集計のほか、環境活動の実施レポートの取りまとめを行います。 ・環境への取り組み自己チェックリストを作成します。(年1回) ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。行政機関や取引先との間での環境関連のコミュニケーションの窓口を担います。コミュニケーションが実際に行われた場合には、外部コミュニケーション記録を記載します。 ・環境活動レポートの公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・毎月の社内報の発行を行います。
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4. 環境目標

廃棄物の削減及びリサイクルの推進

(注) 2023 年度の目標は 2022 年度を基準値として目標を設定。2024 年度は 2023 年度を基準値として設定。

項目 細目	基準年 (2022 年度) (実績)	今年度目標 (2023 年度)	次年度目標 (2024 年度)	次々年度目標 (2025 年度)
受け入れ廃棄物中の 飼料化割合	27.6% (2,013.41 t /7,295.92 t)	28.33%	2023 年度比 1%増	2024 年度比 1%増
受入れ廃棄物中の廃プ ラスチック類リサイク ル量割合	7.15% (521.54 t /7,295.92 t)	14.3%	下記の通り変更	
一般廃棄物量 (事務所ゴミ) 総量	176.20kg	2022 年度比 3%減 170.91kg	2023 年度比 3%減	2024 年度比 3%減

(注) 廃プラスチック類の目標について、よりリサイクルの内容に着目した目標にするため、新たに 2024 年度以降の目標を次の通り変更する。

項目 細目	基準年 (2023 年度) (実績)	次年度目標 (2024 年度)	次々年度目標 (2025 年度)
排出廃プラスチック類 におけるマテリアルリ サイクル割合	4.7% 4.6% (30.03 t / 633.83 t) 648.59 t	7%	10%

CO₂排出量の削減

(注) 2023 年度の目標は 2022 年度を基準値として目標を設定。2024 年度は 2023 年度を基準値として設定。

総排出量 21 年度 93,491.30 (kg- CO₂) 電力の CO₂換算係数は 0.388 kg/kWh を使用

項目 細目	基準年 (2022 年度) (実績)	今年度目標 (2023 年度)	次年度目標 (2024 年度)	次々年度目標 (2025 年度)
受入れ廃棄物 1 t あたり電力関係 CO ₂ 排出量	8.46 kg-CO ₂ / t (61,965.46 kg- CO ₂ /7,295.92 t)	8.04 kg- CO ₂ /t	2023 年度比 5%減	2024 年度比 20%減
受入れ廃棄物 1 t あたり化石燃料 CO ₂ 排出量	4.02 kg-CO ₂ / t (29,297.26 kg- CO ₂ /7,295.92 t)	3.82 kg-CO ₂ /t	2023 年度比 5%減	2024 年度比 5%減

排水量の削減

(注) 2023 年度の目標は 2022 年度を基準値として目標を設定。2024 年度は 2023 年度を基準値として設定

項目 細目	基準年 (2022 年度) (実績)	今年度目標 (2023 年度)	次年度目標 (2024 年度)	次々年度目標 (2025 年度)
受入れ廃棄物 1 t あたり水使用量	0.162 m ³ /t 【総使用量】 1,185 m ³	0.154 m ³ /t	2023 年度比 5%減	2024 年度比 5%減

社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備

項目 細目	基準年 (実績)	今年度目標 (2022 年度)
地域での環境保全活動への参加	—	環境奉仕活動への参加 (継続)
グリーン調達の推進		グリーン調達購入 (継続)
国内外環境活動への協力参加		各種環境団体への積極的参加 (継続)
体制整備 (コンプライアンス・従業員育成)	—	従業員教育強化 (講習会・資格取得) (継続)
コミュニケーション体制整備		社内報、週報、月報の発行 (継続)
環境整備		防虫・防疫の実施、清掃による悪臭の予防
社内美化		5S の推進 (継続)

5. 環境活動計画

廃棄物の削減及びリサイクルの推進

項目 細目	管理項目	具体的活動
全排出量中の廃プラスチック類リサイクル量 (マテリアル・サーマル) 割合	サーマルリサイクル量 マテリアルリサイクル量	サーマルリサイクルへの排出量増加 キャップ等のマテリアルリサイクルの徹底 廃プラスチック類洗浄ライン設置
全排出量中の飼料化割合	飼料化量 全排出量	堆肥化から飼料化への徹底 (継続) 運搬委託企業への増車依頼 (継続)
一般廃棄物量 (事務所ゴミ) 総量	可燃ごみ量 不燃ごみ量	・封筒、メモ紙など古紙リサイクルの可燃ごみへの混入防止徹底 (継続) ・ペーパータオルの古紙リサイクル ・会議資料 PDF 化 (ペーパーレス) ・シュレッダー紙のリサイクル化 (継続) ・帳票見直しによる印刷物の削減 (継続)

CO₂排出量の削減

項目 細目	管理項目	具体的活動
受入れ廃棄物 1 t あたり電力関係 CO ₂ 排出量	使用電力	夏季 28 度、冬季 20 度設定 (継続) 照明 LED 化 (継続) 工場内照明日中 OFF (継続) 天井扇間欠稼働 (継続) 空調機のフィルターの定期的な清掃・交換 夜間、休日パソコン、プリンターなどの主電源 OFF CO ₂ フリー電力導入

	電力量増加の監視	デマンド値を管理する(継続) 中部電力 WEB サービス(使用量等管理)の利用(継続)
受入れ廃棄物 1 t あたり化石燃料 CO ₂ 排出量	ガソリン使用量 軽油使用量	フォークリフトの燃料使用量把握(継続) アイドリングストップ運動(継続) エコドライブ推進(継続) 社内報での定期的呼びかけ(継続) バッテリーフォークリフトに切替(継続)
	灯油使用量 LP ガス使用量	灯油使用量の把握(継続) LP 給湯(工場)温度管理(継続) 高圧洗浄機 温水スイッチの制御(温度管理)(継続) 事務所ガスコンロ I H 化検討

排水量の削減

項目 細目	管理項目	具体的活動
利用水の削減	上水使用量監視	・工場洗浄水の抑制(継続) ・加水作業縮減(継続) ・水道使用量の見える化(継続)

社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備

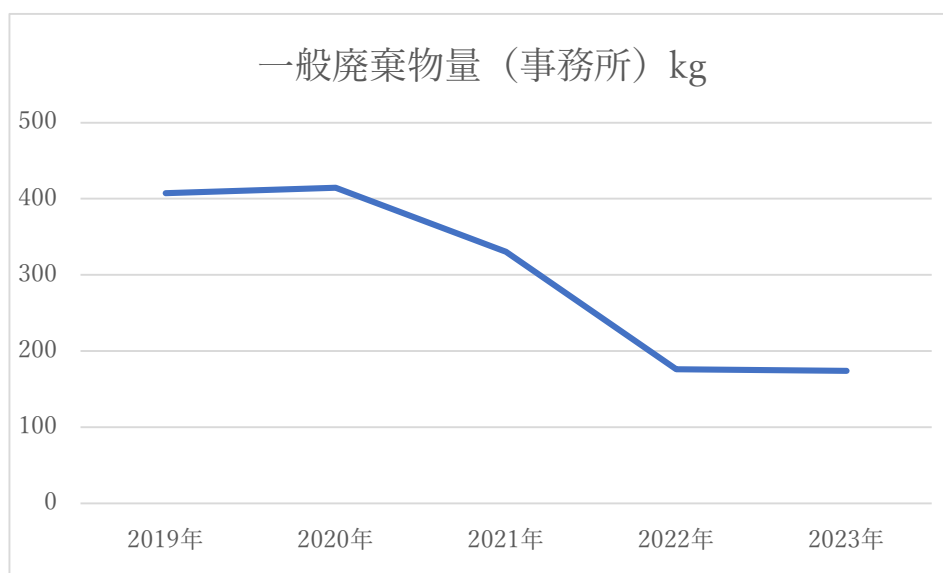
項目 細目	管理項目	具体的活動
地域での環境保全活動への参加	地域清掃活動への参加	・2回/年の地域一斉清掃活動への参加 ・藤前干潟清掃活動への参加
グリーン調達の推進	グリーン調達	コピー用紙グリーン調達率 100%達成(継続) グリーン調達品目の拡大(継続)
国内外環境活動への協力参加	公共団体等開催のイベントへの協力	・資源再生ネット、CRN への参加 ・愛知県産業資源循環協会活動強化 ・愛知県清掃事業連合会活動強化
体制整備 (コンプライアンス・従業員育成)	体制整備・強化	・外部講習等への参加(実務者研修、職長教育、安全衛生教育等) ・従業員環境教育の実施 ・管理者養成
コミュニケーション体制整備	見える化の推進	・週報・月報の発行(継続) ・在庫一覧及び週ごとの棚卸(継続) ・WEB 会議導入(継続)
環境整備	防虫・防疫強化 悪臭予防	・殺虫剤散布(継続) ・防疫措置(豚コレラ予防・殺菌)(継続) ・従業員コロナ感染対策の実施(継続)
社内美化	5 S (整理・整頓・清掃・清潔・躰)	・整理整頓清掃の実施(継続) ・コンクリート補修等で汚れにくい状態へ
未利用エネルギーの研究開発	廃プラスチック類の燃料化	・廃プラスチック類の破碎洗浄による燃料化調査(継続)

6. 実績

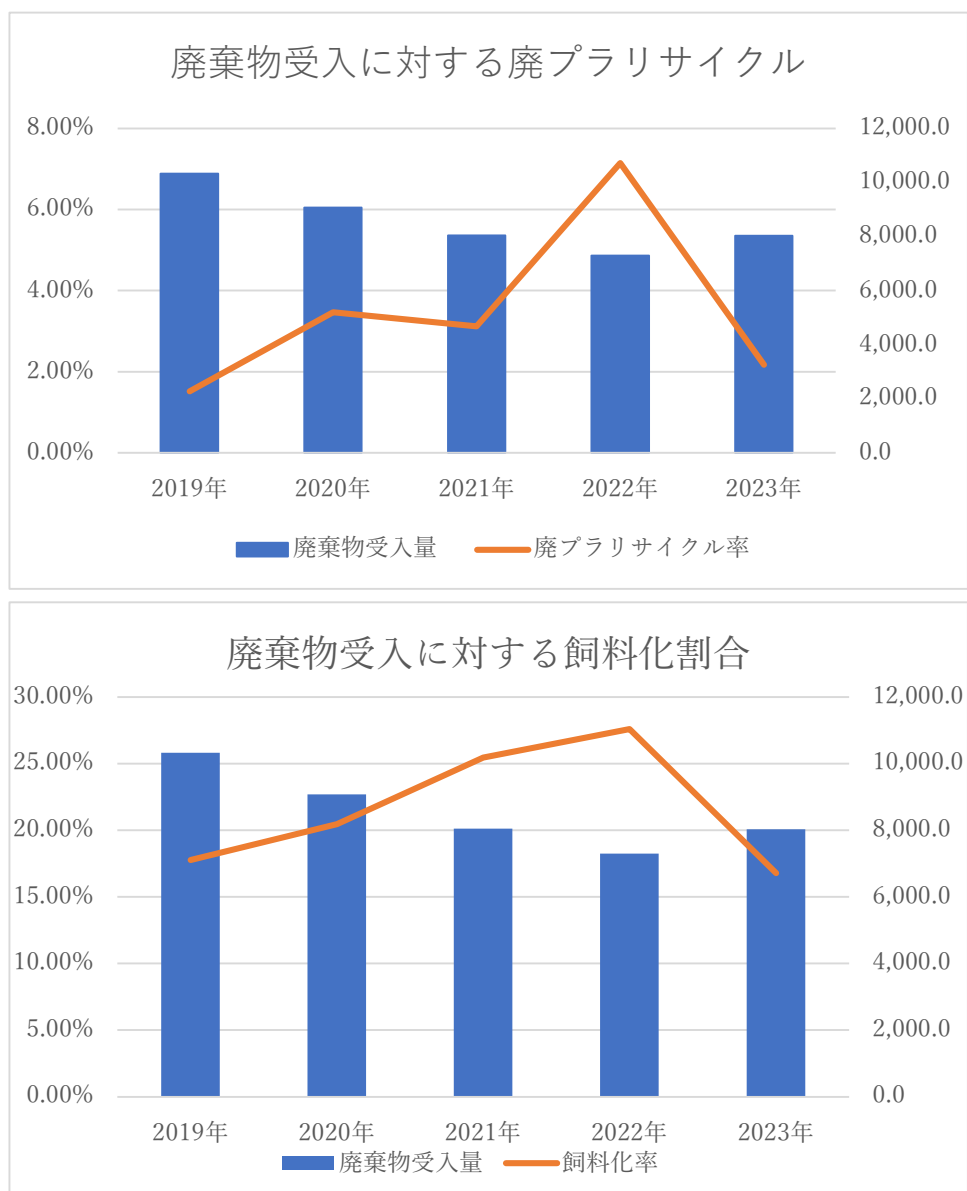
廃棄物の削減及びリサイクルの推進

(注) 化学物質の使用無し。

項目		基準年 (2022 年度)	今年度目標 (2023 年度)	今年度実績 (2023 年度)
廃棄物の総排出量 (=受入れ廃棄物)		7, 295. 92 t	—	8, 228. 34
産業廃棄物の削減	全排出量中の廃プラスチック 類リサイクル量 (マテリア ル・サーマル) 割合	7. 15% (512. 54 t /7, 295. 92 t)	17. 15%	7. 88% (648. 59 t /8, 228. 34 t)
	全排出量中の飼料化割合	27. 6% (2, 013. 41 t /7, 295. 92 t)	28. 33%	16. 4% (1, 347. 22 t /8, 228. 34 t)
一般廃棄物の削減 (事務所ゴミ)	一般廃棄物量	176. 20kg	2022 年度比 3%減 170. 91kg	174. 00kg



※事務所ゴミはkg 単位であるため、t 単位である受入廃棄物との比較は行っていない。



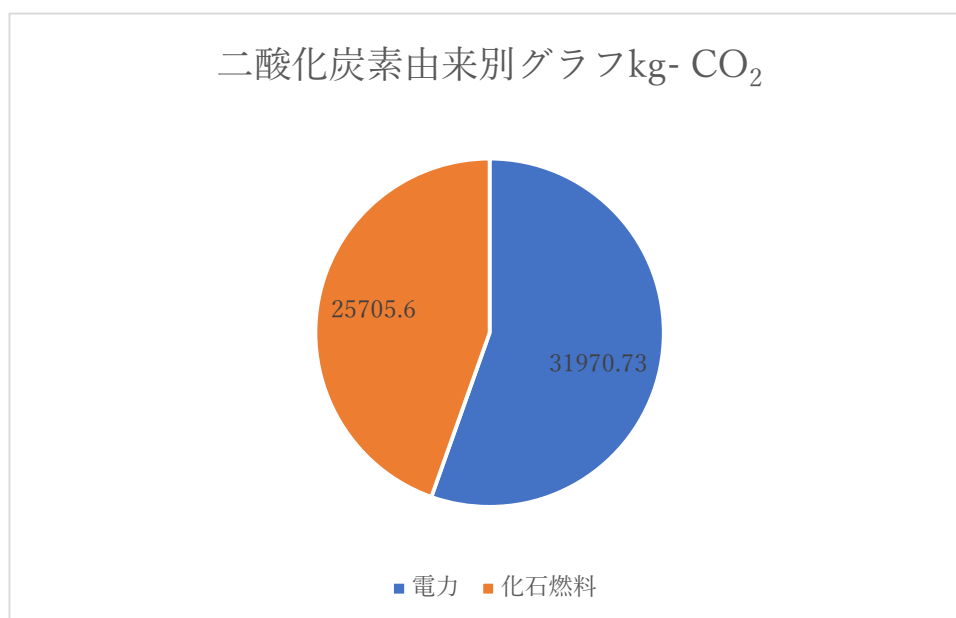
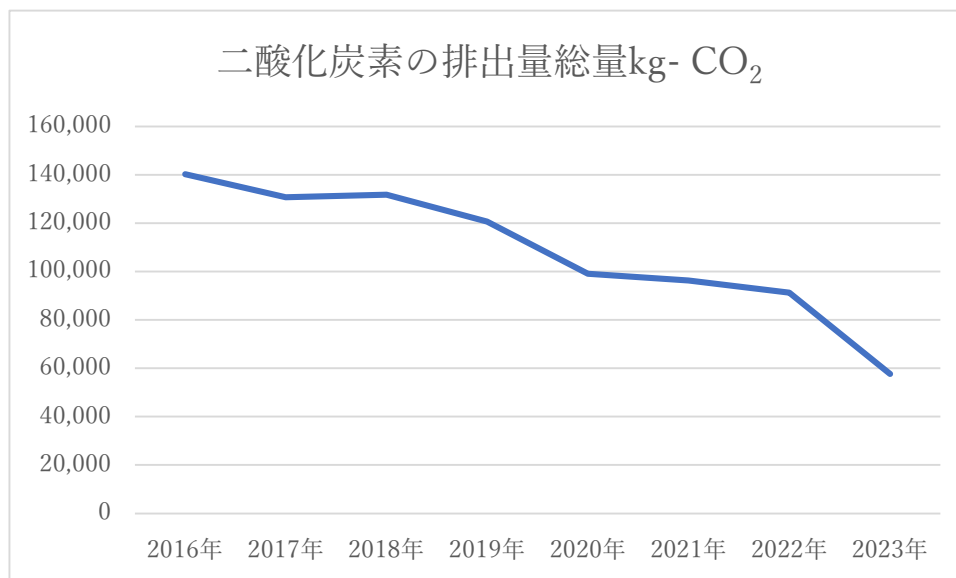
CO₂ 排出量の削減

(注) 電力に関する CO₂ 換算係数は 22 年度 0.459 kg/kWh、23 年度は 23 年 7 月から 12 月まで 0.459 kg/kWh を使用し、24 年 1 月からグリーン電力導入により CO₂ 換算係数 0 を使用。(共に調整後排出係数)

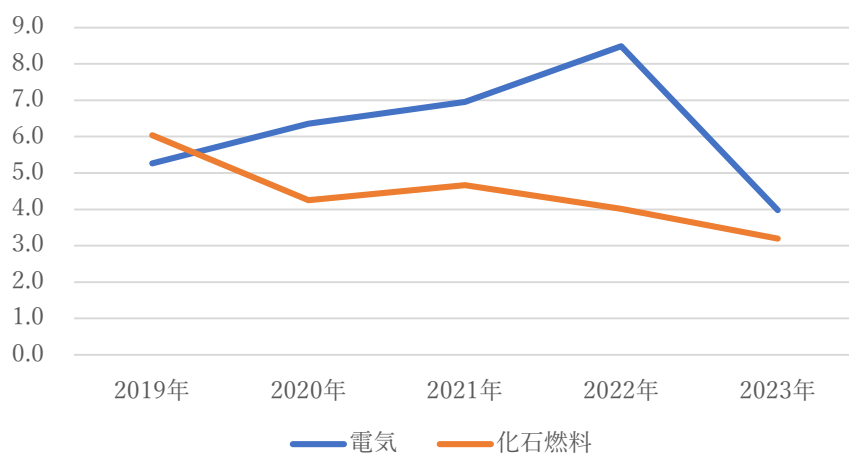
総排出量 22 年度 91,262.72 (kg- CO₂)

項目		基準年 (2022 年度)	今年度目標 (2023 年度)	今年度実績 (2023 年度)
排出量	総排出量 (kg- CO ₂)	91,262.72		57,675.79
	電力使用に伴う排出量 (kg- CO ₂)	61,965.46		31,970.73
	化石燃料使用による排出量 (kg- CO ₂)	29,297.26		25,705.06
電力の二酸化炭素排出量 削減	受入れ廃棄物 1 t あたり電力 関係 CO ₂ 排出量 単位 : kg- CO ₂ / t	8.46 kg-CO ₂ / t	2022 年度比 5%減 8.04 kg-CO ₂ / t	3.89 kg-CO ₂ / t (31,970.73 kg- CO ₂ /8,228.34 t)
化石燃料の二酸化炭素排 出量削減	受入れ廃棄物 1 t あたり化石 燃料 単位 : kg- CO ₂ / t	4.02 kg-CO ₂ / t	2022 年度比 5%減 3.82 kg-CO ₂ / t	3.12 kg-CO ₂ / t (25,705.06 kg- CO ₂ /8,228.34 t)

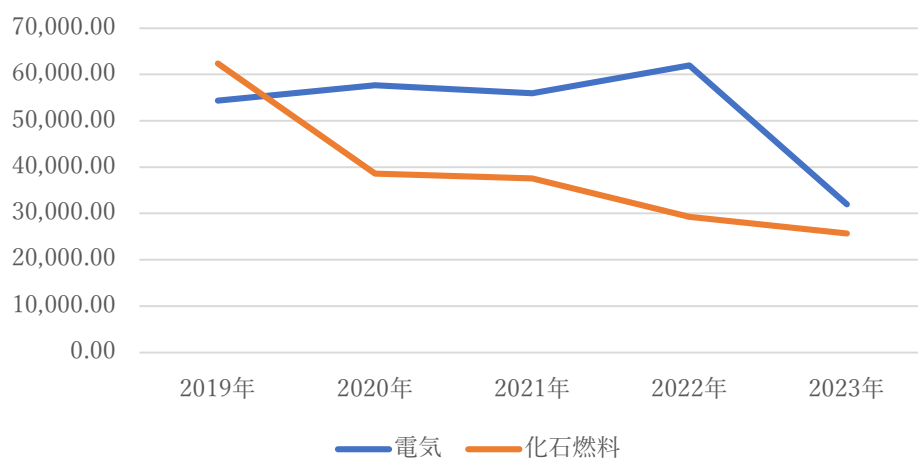
※電力に関する二酸化炭素の排出量は調整後の排出係数を使用している。



廃棄物受入（t）当たり
二酸化炭素排出量kg- CO₂

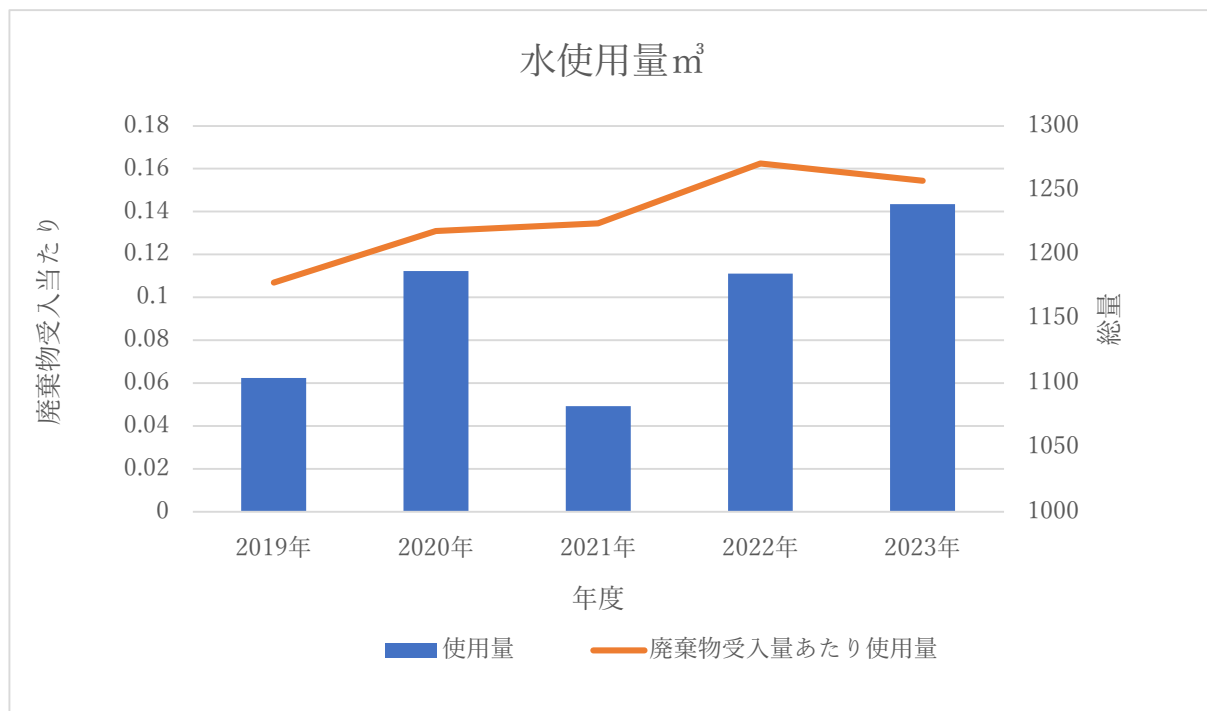


二酸化炭素の排出量推移kg- CO₂



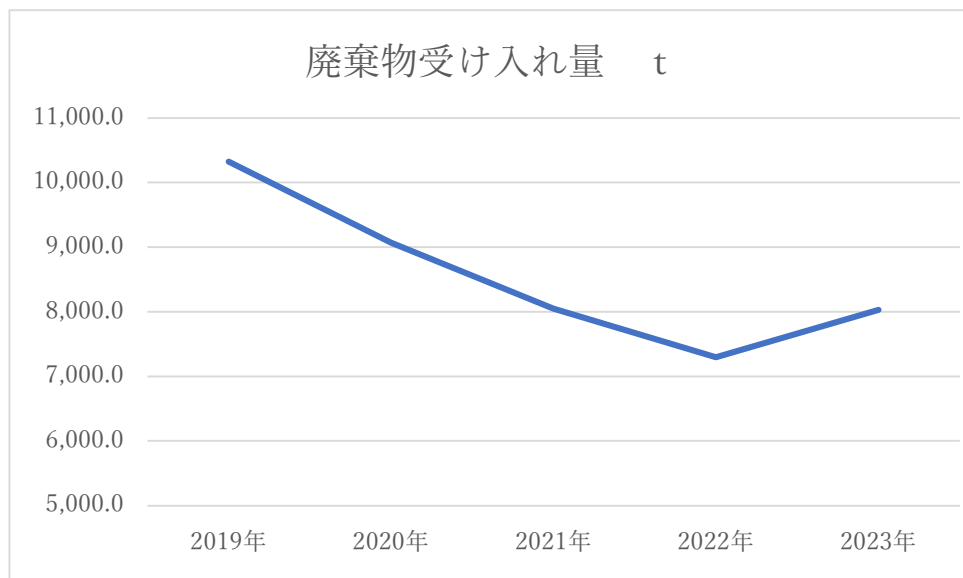
排水量の削減

項目		基準年 (2022 年度)	今年度目標 (2023 年度)	今年度実績 (2023 年度)
水使用量の削減	総使用量	1, 185 m ³	—	1, 239 m ³
	受入れ廃棄物 1 t あたり水使用量 単位：m ³ / t	0. 162 m ³ / t	2022 年度比 5%減 (0. 154 m ³ / t)	0. 151 m ³ / t



廃棄物の受け入れ量 (t)

2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
10,602.0	10,327.4	9,079.5	8,047.0	7295.9	8228.3



社会貢献、環境保全の仕組み・体制整備

項目	管理項目	活動実績
地域での環境保全活動への参加	地域清掃活動への参加	・地域一斉清掃活動 参加 ・藤前干潟不法投棄清掃 参加
グリーン調達の推進	グリーン調達	・コピー用紙・文房具などをグリーン調達品目から購入（継続）
国内外環境活動への協力参加	環境団体（UNEP等）・公共団体等開催のイベントへの協力	・中部異業種間リサイクルネットワーク（CRN）、しげんさいせいネット（継続） ・愛知県産業資源循環協会理事 ・愛知県清掃事業連合会 参加（継続）
体制整備 (コンプライアンス・従業員育成)	体制整備・強化	・実務者研修（1名）（継続） ・従業員環境教育の実施（継続）
コミュニケーション体制整備	見える化の推進	・週報・月報の発行 ・在庫一覧及び週ごとの棚卸 ・WEB 会議（移動による CO₂ 抑制）（継続）
環境整備	防虫・防疫強化 悪臭予防	・殺虫剤散布（継続） ・防疫措置（豚熱予防・殺菌）（継続） ・新型コロナウイルス対策実施（継続）
社内美化	5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）	・整理・整頓・清掃の励行を実施（継続）
未利用エネルギーの研究開発	メタンガス発電の研究	・廃プラスチック類破碎洗浄事業開始（許可申請・取得）

7. 環境活動計画の取組みと評価

2023年7月～2024年6月の1年間の活動と取組み及びその評価

(注) 目標の達成状況 ○：目標値以上 △：目標値の80%以内 ×：目標値の80%以下未達

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組結果の評価
廃棄物の削減及びリサイクルの推進 ■産業廃棄物： 目標：全排出量中の廃プラスチック類リサイクル量（マテリアル・サーマル）割合 17.15% 結果：全排出量中の廃プラスチック類リサイクル量（マテリアル・サーマル）割合 7.62% 7.88% (626.59 t/648.59 t/8,228.34 t) 目標の達成状況：×	目標の達成状況：× 廃プラスチック類の委託先を単純焼却から売電・発電などサーマルリサイクルする業者に変更するなどしたが、リサイクル率が下がった。現在の目標設定および実績管理の仕方では、受け入れた廃棄物の包装の量の影響を受けすぎるため、2024年度から目標の設定方法を変更する。
■産業廃棄物： 目標：全排出量中の飼料化割合 28.33% 結果：全排出量中の飼料化割合 16.37% (1,347.22 t/8,228.34 t) 目標の達成状況：×	飼料原料利用先の養豚事業者において、昨年来塩分規制が厳しく、飼料原料として出荷できる量が大幅に減少している。飼料化可能な食品廃棄物の量がコロナ前に回復していないことも理由として考えられる。
■一般廃棄物（事務所ごみ） 目標：170.91kg 結果：174.00kg 目標の達成状況：×	ペーパータオルを古紙リサイクルするようにしたが、排出量を減らすことが出来なかった。シュレッダーくずも引き続きリサイクルしているが、可燃ごみの量が減らなかった。
CO₂排出量の削減 【総排出量】 57,675.79 22年度 91,262.72 (kg-CO ₂) (電力排出係数 0.459) 23年度 57,675.79 (kg-CO ₂) (2023年7月～12月：電力排出係数 0.459) (2024年1月～6月：電力排出係数 0)	目標の達成状況：○
■電力関係 受入れ廃棄物1tあたり電力関係CO ₂ 排出量 目標：2022年度 (8.46 kg-CO ₂ /t) (電力排出係数 0.459) に対して5%減 (8.04 kg-CO ₂ /t) 結果：2022年度に対して53.0%減 (3.89 kg-CO ₂ /t) 【2023電力関係排出量】 31,970.73 kg (2023年7月～12月：電力排出係数 0.459) (2024年1月～6月：電力排出係数 0.00) 目標の達成状況：○	グリーン電力を導入したため、CO ₂ の排出量を大幅に削減することが出来た。来年度については電力関係のCO ₂ は排出量が0となる予定。
■化石燃料 受入れ廃棄物1tあたり電力関係CO ₂ 排出量 目標： 2022年度 (4.02 kg-CO ₂ /t) に対して5%減 (3.82 kg-CO ₂ /t) 結果：2022年度に対して20.4%減 (3.12 kg-CO ₂ /t) 【2022化石燃料関係排出量】 25,705.06 kg (kg-CO ₂) 目標の達成状況：○	灯油の使用量は増加したが、ガソリン・軽油の使用量が下がったことで、CO ₂ の排出量は減少した。軽油については、出荷先の距離が近くなったことで使用量が減少した。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組結果の評価
排水量の削減	目標の達成状況：○
受入れ廃棄物 1 t あたり水資源投入量の削減 ■水使用量 目標：2022 年度 (0.162 m ³ /t) に対して 5%減 (0.154 m ³ /t) 結果：2021 年度に対し 20.9%増 (0.151 m ³ /t) 目標の達成状況：○ 【総使用量 1,239 m³】	破碎・選別の設備を新しいものに入れ替え、これまで手作業で行っていた飼料化の作業を機械処理できるようになった。その一方で設備の洗浄回数が増えたため、水の使用量は増えた。そのため、使用水量が減少しなかった。受入廃棄物が水の使用量の増加を上回ったため、目標は達成している。
社会貢献	目標の達成状況：○
※現状把握及び基準の策定 目標の達成状況：○	愛知県産業資源循環協会では、新たに副支部長になるなど業界団体の活動に積極的に参加した。 しげんさいせいネットでは、食品リサイクル事業委員会の委員長として活動した。
環境保全の仕組み・体制整備	目標の達成状況：○
※体制整備 目標の達成状況：○	廃プラスチック類破碎洗浄の新規許可を取得した。 単純焼却ではなく、廃プラスチック類の燃料化が可能となった。

(注) 目標の達成状況 ○：目標値以上 △：目標値の 80%以内 ×：目標値の 80%以下未達

8. 環境関連法規制等の順守状況

適用される法規制	遵守状況
廃棄物処理法	遵守
浄化槽法	遵守
消防法	遵守
労働安全衛生法	遵守
下水道法	遵守
水質汚濁防止法	遵守
悪臭防止法	遵守
食品リサイクル法	遵守
フロン排出抑制法	遵守
飼料安全法	遵守
愛知県条例(県民の生活環境の保全等に関する条例)	遵守
愛知県条例(廃棄物の適正な処理の促進に関する条例)	遵守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は、過去 3 年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

● 環境管理責任者からの報告に対する評価コメント

電気をグリーン電力に切り替えたことで、電力由来の二酸化炭素排出量は今後0となったため、二酸化炭素については化石燃料由来に的を絞った具体的対策を講じる必要がある。

廃プラスチック類のリサイクル向上には破碎洗浄を軌道に乗せることが必要だが、伴って水量が増加する。出来る限り少ない水の使用で洗浄を行えるよう、破碎洗浄の適切な設定を行ったうえで、実行する必要がある。また、それ以外の水の使用は、ほとんどが高圧洗浄機によるものであるため、高圧洗浄機に的を絞った節水対策を講じていく必要がある。

現在の目標の設定の仕方では、受け入れた廃棄物の包装の量に影響を受けるため、2024年度から目標の設定を変更する。廃プラスチック類排出量中のマテリアルリサイクルの割合の向上を図ることで、より感興にやさしい企業活動を目指すことが可能となる。

飼料化については、飼料化できるもの全てを飼料化するという姿勢で臨むべきである。飼料化できなかったものは何があったのか、どのような条件が整うと飼料化が可能なのかを分析し、対策を講じなければならない。飼料化の率だけでなく、現状分析も管理項目とすべき。

ペーパータオルの資源化など良い点も見受けられるが、契約書の電子化や請求書の電子化のほか、社内ではまだまだ紙に頼っているところがある。PCを活用し、紙媒体を出来る限り減らすことと業務の効率化を両立させるよう、この点についても現状分析を行い、対策してほしい。

資料：

株式会社ワールド・クリーン 処理フロー図

